2020年（令和2年）1月13日 月曜日 第727号（毎週1回発行）

APJ Amusement Press Japan

本新聞はヤマト運輸(株)に委託して、ポスト投函方式でお届けしています。（郵便物ではありません）

パチンコ・パチスロ業界最新情報

週刊アミューズメントジャパン

Weekly Amusement Japan

2020年（令和2年）1月13日 月曜日

編集・発行所 株式会社アミューズメント プレス ジャパン 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-21-10 えびすアシスト5F TEL.03-5447-0555 http://www.amusement-japan.co.jp

Weekly Amusement Japan
©2020 Amusement Press Japan Inc.
editing & publishing
Amusement Press Japan
planning & production
Amusement Promotion
printing
Four Plus One
年間購読料27,000円（税・送料込）
本紙記事の無断転載を禁じます。

週刊アミューズメントジャパンは
毎週月曜日 Webアップ!
PDFでもご覧いただけます
アミューズメントジャパン 検索

今週の紙面から

業界初の三段スパイラル
『P闘将覇伝HSJ-W』
SANKYO 2面

初当たりはすべて確変
『P地獄少女四』
藤商事 2面

6号機初のジャグラー
『アイムジャグラー EX』
北電子 2面

井岡一翔が初防衛
SANKYO特別協賛 2面

ゼブラエンジェル修了式
KYORAKU 2面

特集 2020年の業界動向を読む
市場予測、パチンコ、パチスロ 3面

newgin group 4面

年末・年始営業 パチンコが下支え パチスロ主軸機の穴埋める

最大で9連休となった今回の年末年始。直前にパチスロ主軸機が撤去されたものの、ホールの業績は減退傾向に歯止めがかかった前年の業績をおおむね維持した。

DK-SISで年末年始期間のパチンコ・パチスロを含めた全店の業績は、稼働時間が4・55時間で前年同期比マイナス0・11時間、粗利は420円で同マイナス40円。全体的に横ばいだったものの、稼働時間が若干下落した。

パチンコでは稼働が1万9900個で同1・0%減、粗利が3820円で同2・1%増。パチスロでは稼働が1万700枚で同4・5%減、粗利が4790円で4・6%減だった。

DK-SIS室の片瀬宏之室長は、「パチスロの業績は約5%下落したが、パチンコのアウト下落がわずかで粗利は約2%上昇。パチンコの頑張りによって昨年レベルを保てた」と分析する。

20円パチスロの業績が下落したことの主要因は、人気機種の筆頭だった『バジリスク～甲賀忍法帖～絆』（エレコ）や『アナザーゴッドハーデス-奪われたZEUSver.-』（ミズホ）などが撤去されたことによるもの。この点について片瀬室長は、「設置台数1位だった『バジリスク～甲賀忍法帖～絆』の撤去により、設置シェアの22%を占める台数上位5機種のアウトが昨年と比較して10%も下落した。同機種を除く上位4機種すべてのアウト平均が昨年よりも高かったにもかかわらず、全体が落ち込んだことで、この機種の偉大さを改めて認識させられた」と話す。

一方4円パチンコは設置シェア23%を占める台数上位5機種の中で、『CR真北斗無双FWN』（サミー）のアウトが昨年よりも11%、粗利が19%上昇。『CR真・花の慶次2 L10-VH』（ニューギン）はアウトが24%、粗利が12%上昇した。さらに12月に導入された『P新世紀エヴァンゲリオンシト、新生G』（ビスティ）は、アウトが3万3800個、粗利が8610円の好業績を収め、年末年始営業を支えた。

片瀬室長は今後について、「今年は認定切れによって残された高射幸性遊技機も外していかなければならず、パチスロの業績下落を避けることは難しい」と指摘。「パチンコメイン機種の稼働を維持しながら、入れ替えを上手に行うことが重要。新しい解釈基準のパチンコ遊技機も登場し始め、機種選定と導入台数、さらには活用やファンへのアピールを含めた『パチンコ管理そのもの』がホール営業の命運を左右する」と分析する。

「小当たりRUSH機や設定付きパチンコを含めて、営業のシミュレーションができているか、遊技機のスペックを数値（分岐スタートや推測最大MYの違い）で捉えられているかなど、足元を確認することが重要。遊技機の入れ替えにとらわれがちな中、その後の営業が生き残るために重要ということを忘れないでほしい」と提言する。

2020年 年末年始データ

資料提供：DK-SIS

全店		稼働時間	対前年差	粗利	対前年差	時間粗利	対前年差
2016年	12/29～1/4	4.93H	−0.03h	4,690円	−300円	950円	−60円
2017年	12/29～1/4	4.80H	−0.13h	4,420円	−270円	920円	−30円
2018年	12/29～1/4	4.67H	−0.13h	4,220円	−200円	900円	−20円
2019年	12/29～1/4	4.66H	−0.01h	4,240円	+20円	910円	+10円
2020年	12/29～1/4	4.55H	−0.11h	4,200円	−40円	920円	+10円

種別	年	アウト	売上	粗利	時間粗利
パチンコ	2020年	19900個	18,300円	3,820円	950円
	2019年	20100個	18,300円	3,740円	920円
	前年比	99.0%	100.0%	102.1%	103.3%
4円パチンコ	2020年	17400個	26,500円	5,300円	1,510円
	2019年	17600個	26,400円	5,150円	1,450円
	前年比	98.9%	100.4%	102.9%	104.1%
1円パチンコ	2020年	24000個	7,800円	1,950円	400円
	2019年	24200個	7,900円	1,930円	400円
	前年比	99.2%	98.7%	101.0%	100.0%

種別	年	アウト	売上	粗利	時間粗利
パチスロ	2020年	10700枚	25,500円	4,790円	880円
	2019年	11200枚	26,900円	5,020円	890円
	前年比	95.5%	94.8%	95.4%	98.9%
20円パチスロ	2020年	10700枚	29,100円	5,410円	1,000円
	2019年	11200枚	31,000円	5,740円	1,020円
	前年比	95.5%	93.9%	94.3%	98.0%
5円パチスロ	2020年	11000枚	7,600円	1,620円	290円
	2019年	11100枚	8,000円	1,630円	290円
	前年比	99.1%	95.0%	99.4%	100.0%

※年始年末期間は全て12月29日～1月4日までの7日間

遊技機性能調査 調査結果公表

健全化推進機構

遊技産業健全化推進機構は12月23日、2015年6月から開始した「遊技機性能調査」の19年11月までの調査結果を公表した。

直近12カ月間の有効調査台数は403台。すべての遊技機で「一般入賞口への入賞」が確認され、399台の遊技機で「10個以上」の入賞があった。

調査開始当初の4カ月は、調査台数に占める一般入賞口への入賞が確認できた遊技機台数の割合は28%から43%程度。一般入賞口への入賞が確認された遊技機においても、10個以上入った遊技機は1割未満だった。

一般入賞口への入賞が確認できた遊技機の割合は、5カ月目の15年10月から50%を超え、1年が経過した頃には80%を超えた。17年1月以降は100%を続けている。

調査開始以降の有効調査台数は、全国51地区2191店舗の3780台。調査のための打ち出し球数は最少2000個、最多4040個、平均3143個だった。

店舗デザインで初認証

ダイナム

車いす利用者でも安心できる店舗づくりが評価された

『ダイナム北海道札幌清田店』（札幌市）が12月3日、内閣府認証特定非営利活動法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会による「メディア・ユニバーサルデザイン施設認証」を取得した。パチンコ業界での取得は初。

同認証は店舗の駐車場や通路、トイレなどが多くの人に利用されやすいか、表示物が多くの人に分かりやすいかを独自評価基準で審査。立ち入り調査した浦久保康裕理事長は「車いすの方々にも配慮した遊技台設備を目にし、非常に感銘を受けた」と述べ、認定基準を十分にクリアしていると判断。「全国一の使いやすさを実現した遊技施設」と話している。

従業員の負担軽減

NEXUS

「DSTATION」の屋号で全国にホール58店舗を経営するNEXUS（群馬県高崎市）は2020年中に、作業時の身体的負担を軽減する「サポートジャケット」を全店舗で導入する。同ジャケットは、荷物の上げ下ろし時や中腰・前傾姿勢時に腰にかかる負担を和らげる効果があるという。

一部店舗では19年12月から試験導入を開始。併せて同年9月には立ち姿勢や足の機能改善に効果が認められるインソール「アシトレ」を全従業員に配布し、業務時の靴への装着を推進している。従業員の健康促進と作業環境の改善が狙い。

これら多機能健康促進製品の職場導入について齊藤人志社長は、「従業員には第二の心臓である足や身体を支える腰を大切にしてほしい。足腰の悩みを少しでも解決することが目的」と話し、新規従業員の確保、離職率低減、モチベーションアップに期待を寄せている。

福祉施設に図書寄贈

大分県遊協

岡田施設長（左）に目録を手渡す力武理事長

大分県遊技業協同組合は12月4日別府市の児童養護施設栄光園で図書の贈呈式を開催。力武一郎理事長が同施設の岡田豊弘施設長に目録を手渡した。

「大分県パチンコ・パチスロファン感謝デー」の収益金を地域社会に生かす新たな社会貢献施策。4回目を数える今回はそごう・西武とブックオフの協力のもと、9カ所の児童養護施設に「大分県遊協温泉パチロー図書」として図書を寄贈した。

newgin
あそびにマジメ

純増 約9枚

沖スロは新境地へ

パチスロ ハナビ

近日内覧会開催予定

詳しくは、最寄りの支店・営業所または、ご担当の営業マンまでお問い合わせください。

SANKYO
業界初、三段スパイラル役物搭載
『P闘将覇伝HSJ-W』

SANKYOは12月24日、新機種『P闘将覇伝HSJ-W』のプレス試打会を開催した。

通常時の大当たり確率は約1/319、右打ち中は役物で大当たりを目指す1種2種混合機。本機最大の魅力である「三段スパイラル役物」は、螺旋状の回転棒が3段で構成されたもの。ガチ抽選役物で、段が進むごとに稼働領域がV寄りに狭まるのが特徴だ。

初当たり後は、99%で突破ゾーン「川中島決戦（役物チャンス1回+残保留4個）」に突入。役物内に2個目が参戦する"援軍"発生でV入賞のチャンスは2倍となる。突破率は約53%で、クリアできれば実質9R大当たり+「風林火山RUSH」を獲得する。「風林火山RUSH」は継続率約83%（役物チャンス4回+残保留4個）。すべての大当たりで約1230個の出玉が獲得でき、大量出玉獲得に期待が持てる。

通常時演出では、先読みの「眼光フラッシュ」やリーチ時の「信玄斬り予告」「風林火山リーチ」、変動開始時の「開戦インパクト」発生で大当たり期待度がアップする。

導入は2月3日予定

藤商事
初当たりはすべて確変
『P地獄少女四』プレス発表会

藤商事は12月26日、都内で『P地獄少女四』のプレス発表会を開催した。

ミドルスペックのV確ループタイプ。初当たり、ゾーン中、引き戻し時といった特定状態中の大当たりは絶対に確変になる※1（!?）「絶確」を採用。

「せっかく当たったのに単発でガッカリ」ということのない斬新なシステムにメディア関係者の注目が集まった。

「地獄少女モード」中に確変を引いて突入する極ゾーンからの継続率は約75%※2、うち払い出しが約1240個の10R確変は72.25%。消化スピードの速さと相まって爽快な出玉感が味わえる。

従来のようにタテ・ヨコに動くだけでなく、手前にも飛び出すZ軸アクションが斬新な「業快デバイス」を搭載。筐体上部の「上蝶ギミック」が飛び出せば大チャンス、「業快ボタン」は深く押し込むほど大当たりへの期待感が高まるなど、かつてないユニークな動作が楽しめる。

導入は2月中旬からの予定。

©地獄少女プロジェクト／宵伽製作委員会
※1：特図1当たりでV入賞が条件　※2：地獄少女モード+極ゾーンの合算値

パチンコ景気動向指数（DI）調査 2019年9月
全般的業況はやや回復
稼働はP、Sともに悪化

エンタテインメントビジネス総合研究所と調査会社のシーズが四半期ごとに実施しているパチンコ景気動向指数（DI）調査によると、2019年9月の全般的業況は前回調査から7ポイント良化した。また、引き続き「人手不足」を経営上の課題とする企業が多いことが分かった。

19年9月の全般的業況はマイナス13.0と前回調査（19年6月）のマイナス20から7ポイント増加した。全般的業況は過去1カ月の売上や粗利から判断するもの。今回の調査は9月中旬から下旬に行われたため、その期間のホールの業績が判断要素。依然としてマイナスでの推移ではあるが、近年の9月調査のなかでは良好な数値となった。

全般的業況が悪化したと判断した理由として最も多かったのが「来店客数の減少」で53.7%、次いで「客単価の減少」で34.7%だった。

全般的業況を事業者規模別でみると、小規模事業者（1～3店舗）で0.7ポイント、中規模事業者（4～10店舗）で29.0ポイントと、業況の改善がみられたが、大規模事業者（11店舗以上）では前回比20.8ポイントのマイナスとなり、事業規模別に明暗が分かれた。

地域別でみると、最も業況が良かったのは「北陸・中部」でマイナス5.9（23.7ポイント増、以下「関東」でマイナス7.7（±0）、「中国・四国・九州」マイナス9.7（12.2ポイント増）と続く。「近畿」がマイナス46.2（33.3ポイント減）と近畿の不調が際立っている。

稼働状況は、パチンコがマイナス45.5（3.6ポイント減）、パチスロがマイナス16.9（13.2ポイント減）と、ともに落ち込んだ。遊技料金別にみると、4円パチンコはマイナス50.5（5.7ポイント減）、低貸しパチンコはマイナス8.3（7.5ポイント減）と4円パチンコの不調が続いている。20円パチスロはマイナス17.9（13.5ポイント減）、低メダルがマイナス17.5（18.3ポイント減）となった。

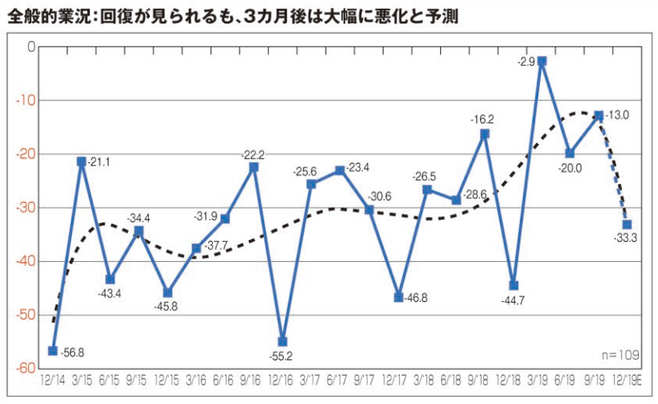
稼働状況はすべての遊技料金で前回から悪化しているにもかかわらず、全般的業況が改善されているということは、稼働は悪いながらも、粗利などの収益は確保しているホールが多いとみられる。

「経営上の課題」を事業規模別でみると、小規模事業者では「設備・運営費の増加」が55.6%で最も高く、中規模事業者と大規模事業者では「人手不足・人材確保」の割合が最も高く、それぞれ61.3%、72.0%だった。

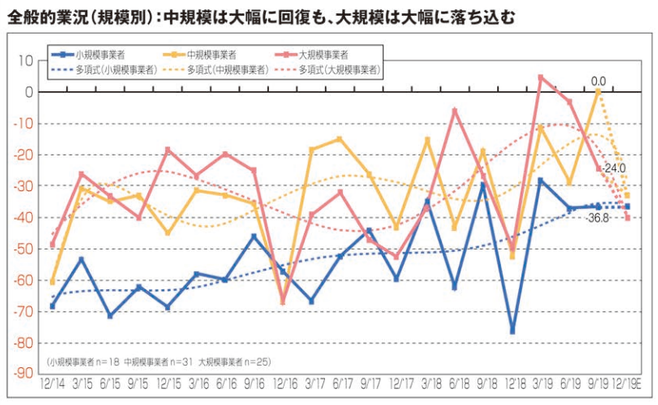
今回の調査ではトレンド・ウォッチとして「消費増税」について尋ねている。10月に消費税が増税された際、売上に影響があるかどうかに対して、「影響がある」が28.8%、「やや影響がある」が60.3%、「影響はない」が11.0%だった。規模別にみると、大規模事業者ほど「影響がある」と回答した企業の割合が高かった。

なお、これは消費増税が実施される前（9月）の調査で、推測で回答したもの。

全般的業況：回復が見られるも、3カ月後は大幅に悪化と予測



全般的業況（規模別）：中規模は大幅に回復も、大規模は大幅に落ち込む



【調査概要】
実施時期　2019年9月12日～9月26日
回答状況　有効回答数74企業、109地域
調査方法　調査票をFAXおよびWEBアンケートで送付・回収

SANKYO
井岡一翔が初防衛
大晦日の1戦に勝利

SANKYOが特別協賛して12月31日に行われたプロボクシングの「LIFETIME BOX GHT 3WBO世界スーパーフライ級タイトルマッチ」で、昨年6月に日本人初の世界4階級制覇を果たしたWBO世界スーパーフライ級王者の井岡一翔選手（SANKYO/Reason大貴）が、同級1位のジェイピエール・シントロン（プエルトリコ）に勝利し、初防衛に成功した。

オリンピックに2大会連続で出場し、プロ12戦無敗の強敵を相手に初回から前に出た井岡選手は、接近戦に持ち込んで左右のボディブローを放ち有利に進めた。試合は12Rまで打ち合う展開となり、判定の結果3対0で井岡選手が勝利した。

井岡選手は試合後のリングで「チャンピオンとして息子が生まれて初めての試合。気持ちとしても今まで以上にプレッシャーがあった」と話し、涙ぐむシーンも見られた。

効果的なボディブローで勝利をたぐり寄せた井岡

北電子
6号機初のジャグラー
『アイムジャグラーEX』プレス発表会

北電子は7日、都内で『アイムジャグラーEX』のプレス発表会を開催した。同機は、ジャグラーシリーズとしては初の6号機。5号機のジャグラーが市場に多数残る中、獲得枚数やシステムに関する情報が初めて公開されるとあって、大勢のプレス関係者が集まった。

小林友也社長は、「人気シリーズの礎を築いたのがアイムジャグラーEX。今回も同じタイトルでリリースすることで、ホール様やファンの皆様に"変わらぬ安心感"をご提供し新たな時代を切り拓いていきたい」とアピールした。

ボーナスの獲得枚数はBIGが約252枚、REGが約96枚。RTなどは搭載していない純粋なノーマルタイプだ。

「原点回帰」がテーマだが、初のJUGGLERロゴを搭載した新筐体を採用するなど、新たな要素も随所に採り入れた。

ゲストは、ジャグラーをこよなく愛するライターとして知られるガリぞうさん。顧客需要調査室の川﨑俊也室長とトークセッションを行った。

導入は、今春の予定。

フォトセッションに臨む小林社長（左）　©KITA DENSHI

KYORAKU
ゼブラエンジェル 約10年の活動に幕

KYORAKUは12月20日、「YouTube KYORAKU CHANNEL」でぱちんこ応援ユニット『ゼブラエンジェル』の修了式の模様を配信した。

『ゼブラエンジェル』は、アイドルグループSKE48メンバーで構成されたぱちんこ応援ユニット。2010年4月にゼブラエンジェルの前進である「ゼブラ天使（エンジェル）キュインキュイ～ン」を結成。以後、約10年にわたりメンバーの増員、入れ替えをしながらパチンコの楽しさを多くの視聴者に伝えてきた。

今回の修了式は、その活動に一旦区切りがついたことから、これまでの活動を讃えて行われたもの。番組では現メンバー7人が勢揃いし、共演の多かった、とにかく明るい安村さんと、ボンざわーるどさんが司会進行役を務めてゼブラエンジェルの歴史や活動を振り返った。

ゼブラエンジェル修了式は、「YouTube KYORAKU CHANNEL」（https://www.youtube.com/watch?v=8V5BqzbGvHU）で現在アーカイブ配信中。

©KYORAKU

アシベ商事
ひと足早いクリスマス

静岡県でホール8店舗を経営するアシベ商事（下田市）は12月16日、下田市立朝日小学校の放課後児童クラブにお菓子とクリスマスケーキ20個を寄贈。サンタクロースに扮した有志が、日中に家庭に帰っても保護者がいない児童11人に楽しい思い出を贈った。

伊豆の地域、地元、遊技客に恩返ししたいと強く願う代表取締役会長の鈴木康弘CEOは、2018年から地域貢献活動を本格化。小学校への各種寄贈や地域催事への参加・協賛などに励んでいる。

子どもたちに笑顔があふれた

澤田グループ
子どもたちに菓子寄贈

ノースランドの屋号で富山県内にホールを展開する澤田グループ（魚津市）は12月25日、富山県の社会福祉法人「富山市桜谷福祉会」こども発達支援センター富山市恵光学園」に、ホールで来店客から寄付されたお菓子を寄贈した。

同社スタッフがサンタクロースに扮しお菓子のプレゼントを手渡すと、園児から大きな歓声が上がった。

福祉施設にプレゼント
アサヒディード

「イル・サローネ」の屋号で大阪と兵庫でホール12店舗を運営するアサヒディードは12月15日、社会福祉法人慶徳会が運営する茨木市の児童養護施設慶徳会子どもの家を訪問。横尾直樹社長室長が子どもたちに、図書カードとキャラクターのタオル合わせて8万1000円分のクリスマスプレゼントを手渡した。

大阪福祉防犯協会の副会長を務める板倉行央会長が同法人の活動に共感して、2006年からサポートを継続している。

子どもたちにプレゼントを手渡す横尾社長室長

子どもたちとクリスマス
成通グループ

全国に「ハリウッド」の屋号でホール30店舗を運営する成通グループ（岡山市）は12月24日、市内の児童養護施設「新天地育児院」でクリスマス会を開催した。また、同社と岡山市ぱちんこ業協会から合わせて40万円を施設に寄付した。今回で43回目。

当日は千原行喜代表をはじめ、同協会の長尾周二事務局長やグループ社員ら14人が参加。千原代表やグループ社員がサンタクロースに扮してクリスマスプレゼントやケーキ、お菓子などを子どもたちに手渡した。

サンタに扮し子どもたちにケーキを手渡す千原代表

福祉事業団に50万円
真城ホールディングス

愛知県を中心にホール11店舗を運営する真城ホールディングス（名古屋市）は12月13日、中日新聞社内で年末助け合い運動を行う中日新聞社会福祉事業団に50万円を寄託した。

同事業団による年末助け合い運動は、東海三県や名古屋市の福祉事務所などを通じて、生活保護受給家庭で暮らす子どもたちのお年玉として届けられる。

同社は、継続的に地域貢献、広域社会貢献への支援を行っていくという。

寄託金を手渡す真城貴仁社長（中央）と村上知隆課長（右）

PGM
ジュニアゴルフ日本代表選抜大会 今年も冠スポンサーに

パシフィックゴルフマネージメント（PGM）は、国際ジュニアゴルフ育成協会とビーエスフジが主催する2020年度の『PGM世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会』に冠スポンサーとして特別協賛すると発表した。

PGMは、社会貢献及びジュニアゴルファー育成の一環として、2014年度からこの大会に協賛。PGMが運営するゴルフ場を大会の会場として提供している。この大会では、東日本・西日本の各決勝大会で、15-18歳男子の部優勝者に、副賞として国内男子AbemaTVツアー『PGM Challenge』本戦出場権も付与される予定だ。

さらに、7月にアメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで開催される『IMGA世界ジュニアゴルフ選手権』に「PGM日本代表選手団」として出場する45人（予定）の選抜選手に対して、IJGAを通じてサポートするという。

ワンデーポート
サンタランで地域貢献
ニラクからも参加

ギャンブルに問題がある人の支援施設であるNPO法人ワンデーポート（横浜市瀬谷区）は12月24日と25日の2日間、利用者とスタッフがサンタクロースの装いで施設周辺をランニングし子どもたちにお菓子を配る地域貢献活動「サンタラン」を実施した。毎年、クリスマスの時期に行っており今回が7回目。2日目の25日にはホール経営企業のニラク（福島県郡山市）からも3人が参加。ギターの伴奏とお菓子の配布で協力した。

この日は相鉄線の瀬谷駅から大和駅周辺をランニング。子どもたちにお菓子を配布しながら、グループホームワーク友愛、わくわくの里、グループホームこころ、の3施設を訪問してお年寄りや子どもたちと触れ合った。

今回初めて参加したニラクの戸田有希乃さんは「たくさんの人たちが、『サンタの大群が走ってきた！』と驚きつつも、笑顔で手を振ってくださったのが嬉しかった。人の温かさを感じた一日でした」と充実した様子だった。

子どもたちにクリスマスソングを披露する総勢13人のサンタ

New Machine Digest

北電子　新規則機
アイムジャグラーEX
問い合せ／㈱北電子　導入予定日　今春

©KITA DENSHI

獲得枚数約252枚とペカりやすさを実現

見た目の印象は5号機のアイムジャグラーEXとほぼ同じで違和感なく打て、さらに随所に「新たな楽しさ」を盛り込んだ。初搭載のJUGGLERランプがレインボーに光ったり、CHANCEがレインボーに光るなど、これまでなかったプレミアム演出を多数搭載。BIG終了後、55GでBIGに当選すると串田アキラが歌うジャグラーソング「みんなのGOGO！CHANCE」を聞くことができる。BIGの獲得枚数は約252枚と6号機のノーマルタイプでは最多。ボーナス合算確率は先代のアイムジャグラーEXよりも高めで1000円当たりのペースは40G。ペカりやすさと出玉の波のバランスも絶妙だ。

ノーマルタイプ
ボーナス合算確率：1/168.5（設定1）～1/127.5（設定6）
ボーナス獲得枚数：BIG 約252枚　REG 約96枚
出玉率：97.0%（設定1）～105.5%（設定6）

JFJ　新規則機
P地獄少女四
問い合せ／㈱藤商事　導入予定日　2月中旬

©地獄少女プロジェクト／宵伽製作委員会

爽快出玉のカギを握る75%継続の絶確ループ

通常時の大当たりは必ず10R確変（!?）※1の「地獄少女モード」に移行。このモード中の大当たりは44.5%が10R確変、5.5%が2R確変、50%が3R通常。確変大当たりならば終了後「極ゾーン」からスタート、83回転以内の大当たりは必ず10R確変（!?）※2になる。極ゾーン突入からの継続率は約75%※3、うち10R確変は72.25%と爽快な出玉感が味わえる。もうひとつ必ず10R確変（!?）※4となるのが、地獄少女モード中の通常大当たり後に突入するチャンスゾーン（時短50回or88回）での大当たり。「絶確」ループ（発表会の記事参照）とチャンスゾーンをうまくループさせることが出玉獲得のカギとなる。

※1・2・4：特図1当たりでV入賞が条件　※3：地獄少女モード+極ゾーンの合算

ミドルタイプ	
大当たり確率：1/319→1/120	
確変突入率（初回）：100%　※確変はV入賞が条件	
絶確ループ：約75%　※地獄少女モード+極ゾーンの合算値	賞球数：1&6&15
時短回数：50回or84回※or88回　※実質83回	
ラウンド数・カウント数：2Ror3Ror10R・8C	

ジェイビー　新規則機
P闘将覇伝HSJ-W
問い合せ／㈱SANKYO　導入予定日　2月3日

©JB ©SANKYO

業界初三段スパイラル役物RUSH中はALL1230個

業界初となる三段スパイラル役物を搭載した1種2種混合機。初当たり後は、99%で役物チャンス1回の突破ゾーン「川中島決戦」に突入。ガチ抽選役物「三段スパイラル」をクリアできれば、実質9R大当たり+「風林火山RUSH」獲得だ。RUSH中の大当たりは、役物チャンス4回+残保留4個で抽選。トータルの継続率は約83%、すべての大当たりで約1230個の出玉が獲得できる。

ミドルタイプ
賞球：3&1&5&4&15
大当たり確率：1/319.6
RUSH突入率：約53%　※役物チャンス1回の突入率:約29.2% ※残保留4個の突入率:約33.3%　※直行1%含むTOTAL突入率:約53%　※実射値
RUSH継続率：約83%　※役物チャンス4回の継続率:約74.5% ※残保留4個の継続率:約33.3%　※TOTAL継続率:約83%　※実射値
役物チャンス：1回+残保留4個（突破ゾーン:川中島決戦）or4回+残保留4個（RUSHゾーン:風林火山RUSH） ※川中島決戦は役物チャンス1回、風林火山RUSHは役物チャンス4回で電サポ終了
出玉：1230個（実質9R）or675個（5R） ※払い出し玉数　※9カウント（小当たり時は10カウント）　※小当たり獲得分含む

特集

今年の業界動向を読む！

勝ち残るホールへ向けて、着手すべきこと

新規則機への入替えや完全分煙化など、様々な変化に対応しなくてはならない2020年。さらには採用難や資金調達難など、経営を圧迫しかねない問題も山積する。それらの問題にどう向き合うべきか。専門家が提言する。

1 市場予測

2020年以降のロードマップ 新規則時代を勝ち抜く

ノンブル・マーケティング 齊藤晃一 代表

2020年の業界予測

いよいよ新規則時代に本格的に突入しました。昨年末には高射幸性機種の代表格の『バジリスク絆』、『ハーデス』、今年5月には『沖ドキ』の撤去が待ち構えます。パチスロ粗利全体の約4割を構成し続けてきた看板機種です。これらと肩を並べる6号機はありません。この状況が続く限り2020年のパチスロ全体粗利は10%近く減少し、6号機導入コスト増によって営業利益は昨年対比で30%以上の減収を余儀なくされます。

パチスロの業績低下の一方で、旧規則機を有する4円パチンコはパチスロからの流入も想定され、業績は維持しやすいでしょう。旧規則機（CR機）と新規則機（P機）の業績格差もパチスロより小さい。また、設定付きパチンコのバリエーションと技術革新が進行し、『ウルトラセブン2 Light Version』『P牙狼コレクション』に代表されるように、「小さいが新しい市場」が登場している点もプラス材料です。2020年の4円パチンコ市場は、CR機を中心とした現在の市場＋パチスロ流入層＋P機によるイノベーションで堅調に推移するでしょう。

これらの時流予測（日本国人口推移、業界トレンド、ファン行動予測、参加率、投資金額、遊技頻度）を考慮し算出した業界の未来予測をすると、今年の業界売上規模は18兆円を下回り、国民一人当たりのパチンコの年間売上金額（マーケットサイズ）は約14・4万円まで落ち込み、業界全体の年間粗利規模は3兆円へ縮小すると予測されます。

2020年の機械戦略

新規則時代へ向けて機械台入替も本格化していきます。検定機及び認定機で最終日まで使用することが想定される『北斗無双』『沖縄4』『慶次漆黒』『ジャグラー』『ハナハナ』以外の旧規則機は、順次新規則機へと置き換えられます。全体の機械入替回転率は上昇し、4円パチンコで設置台数の80%、20円パチスロで60%、低貸し市場で30%の新台入替需要があると想定されます。これには当然多額の費用（2020年の新台販売金額は1兆円規模）が伴い、粗利減少と合わせてホール経営を強烈に圧迫します。

ここに憂慮すべき点があります。新規則機へ移行するための費用は、マーケットリーダーの店舗が「通常の機械予算内」で対応可能なのに対し、チャレンジャー以下の店舗は「通常の機械費用を超過」しやすい点です。マーケットリーダー以外の店舗は2020年から数年間は特別な予算を計上するか、通常入替分の予算を縮小させて定番機の機械購入に充当せざるを得ないため、店舗ポジションにおける競争格差、利益格差が一段と拡大し、一強多弱状態がさらに進むものと想定しています。

経営状態の悪化で現存するホールの30%程度が経営破綻に陥り、7000店舗まで縮小するなどの推測もありますが、弊社では撤退店舗は20%未満、8000店舗程度が存続可能と予測しています。これは新規則機への移行費用が当初の予測を下回る見込みのため、経営存続に必要な最低粗利額が引き下げられることに起因しています。新規則機へ移行するために必要な台数を主なカテゴリごとに算出した資料が図表2と3です。

パチンコではミドル・ライトミドル・甘デジで計49万台の需要を見込み、新規則機への移行が遅れている海シリーズの争奪戦が想定されます。また甘デジについては60%以上の移行率となっていますが、規制緩和後の低ベース甘デジの業績貢献が高く、CR機撤去と高ベースP機の入替で10万台の需要を見込んでいます。しかし甘デジが月間1万台ペースで市場供給されない場合、中古市場価格が下落せずに低貸しパチンコにおける甘デジP機の調達が困難になる恐れがあります。

幸いハイミドルとライトミドル市場は十分な供給が予想され、価格の鮮度とスペックを問わなければ安価に新規則機対応もできます。

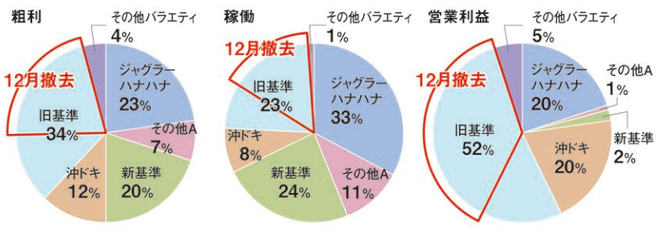
パチスロの6号機移行率は32%とパチンコ以上に進行していません。特にAタイプの6号機移行はほぼ皆無で、今後『ジャグラー』と『ハナハナ』合計で40万台弱の入替需要を見込んでいます。

AT市場については5月以降に『沖ドキ』と5・5号機の検定切れの機種を順次撤去する必要があり、オリンピック前に20万台程度、オリンピック後に30万台の需要を見込んでいます。

しかし、6号機の粗利性能低下で機械費用すら回収できないケースもあるため、投資意欲は大きく低下しています。6・1号機による機械性能と粗利性能の向上を期待していますが、投資するほどに赤字が増えるという最悪の状態も想定しておく必要があります。

また、低貸しの『海』、『ジャグラー』は客数貢献が大きい機種ですが、利益貢献はそれほど期待できないため、高額投資には慎重さが求められます。このような状況下でマーケットリーダーは積極的に定番機ユーザー確保に向かうことも予想され、2020年以降は今まで起こり得なかった市場再編も発生するでしょう。

図表1 パチスロ旧基準機撤去のインパクト



リカバリ不可
撤去機種のPPMは【金のなる木】か【負け犬】で高い台粗利貢献をしている。代替機も同様なポジションでの運用は厳しく、粗利は半減以下、全体業績は10%ダウン。

リカバリ可
稼働については比較的貢献は少ない。他機種や後継機種で代替は可能。全体業績への影響は5%以内を見込む。

リカバリ不可
抜群の利益貢献をしていたコーナーが粗利の低下と機械費用の上昇により大幅な収益減となる。全体への影響度は30%の減益を想定する。

図表2 パチンコ新規則機入替状況と需要

種別	パチンコ タイプ	パチンコ 全体	2021年までに入替必要（撤退、パネル減台補正） 海ドルライトM	海甘デジ	北斗・慶次	主力以外	ライトM	甘デジ・羽	入替必要	
4円パチンコ	旧新基準	752,490	179,078	47,723	147,278	218,963	109,049	50,400	752,490	※撤退により25%減少
	新規則	631,188	13,703	35,721	36,509	179,032	257,829	108,395	315,594	※既存P機の50%を入替
	4円P計	1,383,678	192,780	83,444	183,787	397,995	366,878	158,795	1,068,084	※撤退により15%減少
	移行率	46%	7%	43%	20%	45%	70%	68%		
低貸しパチンコ	旧新基準	491,175	80,730	152,674	26,982	141,954	26,275	62,560	260,386	※撤退により32%減少
	新規則	296,226	15,840	43,880	6,320	112,266	55,280	62,640		
	4円P計	787,401	96,570	196,554	33,302	254,220	81,555	125,200	260,386	※撤退により23%減少
	移行率	38%	16%	22%	19%	44%	68%	50%		

※中古入替で対応可能

2019年に43%が移行済

49万台需要 赤信号　潤沢供給 青信号　10万台需要 黄信号

海物語、北斗、慶次といった定番機の入替計画が最大の課題。特に2021年までに撤退及び減台する店舗分を加味しても、ミドル&ライトミドルで27万台、甘海で22万台、合計49万台の入替需要が発生。需要と供給バランスは崩壊する。　※予算の少ない店舗は海の入替に対応できず甘デジは通常貸しと低貸し需要で10万台の需要を見込む。月9千台ペースの供給が困難と想定し、特に高評価の甘デジの資産価値は下がり難く、戦術的導入が可能。

図表3 パチスロ新規則機入替状況と需要

種別	パチスロ タイプ	パチスロ 全体	2021年までに入替必要 ジャグラー	ハナハナ	その他A	沖ドキ	ゴッド	その他AT	入替必要	
20円パチスロ	旧基準機	878,628	286,697	85,503	107,791	83,622	56,133	258,885	878,628	※撤退により19%減少
	6号機	404,316	0	0	3,927	0	0	400,389	121,295	※既存6号機の30%を入替
	20円S計	1,282,944	286,694	85,503	111,718	83,622	56,133	659,274	999,923	※撤退により14%減少
	移行率	32%	0	0	4%	0%	0	61%		
低貸しパチスロ	旧基準機	104,742	13,530	1,155	15,345	660	8,184	65,868	38,874	※撤退により25%減少
	6号機	65,604	0	0	0	0	0	65,604		
	低貸S計	170,346	13,530	1,155	15,345	660	8,184	131,472	38,874	※撤退により17%減少
	移行率	39%	0	0	0%	0	0	50%		

※中古入替で対応可能

2019年に32%が移行済

30万台需要 赤信号　需要殺到 赤信号　50万台需要 黄信号

6号機への移行率は32%とパチンコ以下。特に主力機の6号機移行が滞っており、今後の見通しも立っていない。6.1号機の技術革新待ちという風潮の中、旧基準機に依存した営業が続く。ポイントは沖ドキ撤去と主要な5.5号機が続々と検定満了を迎え、同時期に、新ジャグラー、新海物語の定番コンテンツ、6.1号機主力機の発売も控えており、業界全体の収益構造が減収減益へ劇的に変化する。このコア環境変化×禁煙化×関散期がどれほどインパクトを残すのか？これを「5月ショック」として十分な想定と準備をもって迎えたい。

2 パチンコ

タイプ別にみる強化ポイントとは!? 2020年の入替戦略

矢野経済研究所 石野晃 主任研究員

ミドルタイプ 旧規則機からの脱却をいかに進めるか

現在、ホールに設置されているパチンコ旧規則機を見ると、『CR真・北斗無双』や『CR真・花の慶次2～漆黒の衝撃』に代表される「高出玉ミドルタイプ」、及び『CR大海物語4』や『CRスーパー海物語IN沖縄4』を筆頭としたミドル版海物語シリーズの2系統が設置シェアの上位を占め、これらを軸に入替えを推し進めていくことが課題と言えます。

2019年はライトミドルタイプや甘デジタイプが多くリリースされ、ミドル内での入替えが十分促進されない環境にありました。さらに2018～2019年はいくら大型タイトルを投入しても一定期間後には旧規則機へとユーザーが回帰してしまう事態が回避されず、新規則ミドルへの入替そのものに消極的だったかもしれません。

しかしながら、様々な内規の緩和が行なわれたことにより、現在のミドルでは、「時速」と称される出玉の増加スピードやモードTYが旧規則機と見劣りしない水準にまで達し、旧規則機と新規則機の間での性能の差は縮まりつつあります。来年1～2月には「高出玉×高速」を特徴としたミドルが複数登場する予定で、これらが旧規則の「高出玉タイプ」の代替機としてある程度貢献していくことは十分期待できます。

この様な状況を踏まえると、2020年初頭より「高速×高出玉」の新規則ミドルタイプと旧規則の「高出玉タイプ」の入替を積極的に進めたいですが、現在も『CR真・北斗無双』や『CR真・花の慶次2～漆黒の衝撃』にこだわるユーザーの間では「新規則機は旧規則機よりも性能が低い」というイメージが根強く残っており、ユーザーの移行を活発化させるには、彼らの新規則機に対する先入観を拭っていくことも重要となります。

一部のユーザーの間では、すでに新規則機に対する評価が上昇傾向にありますが、高性能のミドルが複数投入される今年1月以降、この様なファンの口コミがさらに広がり、新規則機への見直し気運がますます高まることが予測されます。この流れに上手く乗り、旧規則機からなかなか離れないユーザーに対しても、「新規則機の出玉性能が旧規則機に近づきつつある」ことを浸透させる必要があるでしょう。

ライトミドル・甘デジタイプ 出玉性能は戻ったが多台数の入替えは厳しい

「新規則機の出玉性能が旧規則機に近づきつつある」点は、もともと規則改正でのダメージが少ないと言われていたライトミドルや甘デジにも該当し、特に甘デジについては、旧規則に劣らない差玉が打ち出せるようになったことで、一時期の不振の状況が徐々に解消されつつあります。

旧規則機から新規則機への移行を進める弊害はますます減ったと捉えられますが、甘デジ、ライトミドルのカテゴリでは、多品種を少台数ずつ導入するバラエティ化が一般化し、仮に短期間で多台数を一気に入れ替えてしまった場合、余程の大型タイトルや人気タイトルでなければ過剰設置の状況に陥り、稼働に悪影響を与えてしまう点には注意する必要があります。

ライトミドルタイプや甘デジタイプでは、主力タイトル以外の機種の入替えが鍵を握っています。短期間で多台数を一気に入れ替えられないことを念頭に置いた上で、安価なリユース機も活用し、1年を通じてこまめな入替えを行なった方が良いでしょう。

「海物語」シリーズ 『沖縄』や『大海』に期待大だが、導入時期は不透明

代替として活用できる新規則機が徐々に揃いつつある「高出玉タイプ」に対し、「海物語」シリーズに関しては、通常大当たりでも約1500個の出玉と100回転の時短を保証しなければならない設計上、型式試験になかなか適合せず、代替機が未だ満足に登場していません。

メーカーサイドでは、2020年以降、ほぼ毎月のように「海物語」シリーズを発表し、数十万台規模で設置台数が残るとされる旧規則機との入替えに対応していくようですが、この中には甘デジタイプやライトミドルタイプも含まれ、現段階では、ミドルタイプが安定的に提供されるかについては今一つ不透明な状況にあります。

むしろ、多くの関係者が入替の本命として期待を寄せる『沖海5』や『大海5』の導入時期が確定しておらず、現段階では入替スケジュールを万全に組み立てられないことも事実でしょう。

昨年4月に導入された『～JAPAN2』の経緯を踏まえれば、これから登場する新規則機が現存する旧規則の「海物語」シリーズと同等の性能や遊技感を備え、代替機としての役割を十分果たすかという不安も当然ながら残されており、最悪の場合、ミドルスペックが万全に揃っていない状態で2021年1月を迎えなければなりません。

これらのことから、2020年のパチンコは、ミドル版「海物語」シリーズの入替えが最も大きな課題となります。

まずは1月から投入されるミドル版の新規則機で自店にある旧規則機の余剰分を徐々に減らすと同時に、『沖海5』の登場を機に『沖海4』を大幅に入れ替えられる体制と体力を作っておきたいところです。その一方で、ミドルタイプ版が満足に供給されなかったケースを想定し、自店に通う「海物語」ユーザーを減らさない策も検討していかなければなりません。その際には、「海物語」ユーザーを甘デジタイプやライトミドルタイプでいったん受け止めることによって、自店客の流出と離反を防ぎ、次の本命機が登場した際の巻き返しに備えていくことが有効かと思われます。

規則改正から約2年が経過した現在、パチンコでは1種2種、小当たりRUSH、確変2回ループとスペックの幅が着実に広がり、同時に出玉性能も時速、モードTYといった側面において旧規則機とのギャップが埋まりつつあります。さらに年末には、「時短の突入条件」に関する内規が緩和され、さらに管理遊技機にも言及され、今春をめど新基準に対応した機種が登場することも予測されます。

現在の新規則機には旧規則機になかった魅力が新たに備わっていることを知らしめながら、移行を進めていくことが望まれます。

いしの・あきら
2000年、㈱矢野経済研究所に入社。翌年より会員向け情報誌「パチンコパチスロ新機種情報」の編集業務に携わり、パチンコを中心とした機種分析を本格的に開始。以降、アンケート調査業務や遊技機メーカーへの開発支援業務などを通じ、業界に様々な意見を進言している。

3 パチスロ

商圏での序列を覆す契機に 6号機への移行は計画的に

矢野経済研究所 稲田剛史 主任研究員

新規則機への完全移行まで残り1年となりました。当然ながら2020年は新規則機へのスムーズな移行がテーマになります。

前回の規則改正時は、パチンコでは大当たり確率の引き下げと確変比率の上昇によって『CRフィーバー大ヤマト』や『CR新世紀エヴァンゲリオン』といったヒット機が登場し、早い段階で新規則機が普及していきましたが、パチスロは5号機の導入が進まず、4号機と5号機の設置シェアが逆転したのは移行期限の僅か3カ月前となる2007年7月でした。6月から7月に『秘宝伝』や『押忍！番長』等が設置期限を迎えたことで5号機の導入が本格化し、9月末までの僅かな期間で移行を完了させたことになります。

現在も2007年と同じ状況にあり、主要機種を設置期限ギリギリまで運用したいとの意向から、6号機への移行は低調なままです。ただし、今回の規則改正では前倒し認定によって2021年1月末まで設置可能な機種が多く、パチンコも同時に進める必要があるため、新規則機移行はかなり慌ただしいものになるでしょう。

弊社で2019年8月に実施したホールアンケートでは、2021年1月末までの新規則機への移行が「間に合わない可能性がある・間に合わない」との回答がパチンコで17%、パチスロでは20%を占めており、一定数のホールが新規則機移行を不安視していることが分かります。

単に入替えるだけではなくファンをつなぎとめるために

新規則機への移行は、単に設置期限を迎えた機種を撤去すれば良いのではなく、後継として導入した機種でファンをつなぎとめる必要があります。パチスロの場合、主要機種の撤去を大きく4つのフェーズに分けることができ、昨年10月から12月にかけての『SLOT魔法少女まどか☆マギカ』『バジリスク～甲賀忍法帖～絆』『アナザーゴッドハーデス・奪われたZEUSver.』等の撤去を第1フェーズとすると、6月から7月の『沖ドキ！』や『ニューアイムジャグラーEX・KA』の撤去が第2フェーズ、10月から12月にかけての『ゴーゴージャグラー2』『マイジャグラーⅣ』『ミリオンゴッド・神々の凱旋』等の撤去が第3フェーズ、2021年1月の6号機完全移行が最終フェーズとなります。

それぞれのフェーズで主要機種の撤去から後継機の導入、ファンの移行をスムーズに進めていく必要があり、相応の遊技機購入予算も投下しなければなりません。

多くのホールでは2020年は機械購入予算を増額しているようですが、各フェーズでの6号機への移行の進め方によっては想定以上に予算が必要となる可能性も高く、柔軟な対応が求められます。実際に第1フェーズの『SLOT魔法少女まどか☆マギカ』や『バジリスク～甲賀忍法帖～絆』、『アナザーゴッドハーデス・奪われたZEUSver.』の撤去、移行では、これらの設置台数以上の機種導入が必要でした。

初代『SLOT魔法少女まどか☆マギカ』の場合、撤去期限の1カ月以上前に後継機である『SLOT劇場版魔法少女まどか☆マギカ[新編]叛逆の物語』がリリースされたことで、『SLOTまどか新編』の導入時には初代『SLOT魔法少女まどか☆マギカ』はほとんど撤去されませんでした。

そのため、東京都の場合は初代『SLOT魔法少女まどか☆マギカ』撤去時には、発売タイミングが合致した『パチスロ蒼穹のファフナー EXODUS』が最も多く導入されました。次いで『SLOT魔法少女まどか☆マギカ2』の再設置が多く、以下は5号機を少台数ずつ再設置することで穴埋めされています。

12月の『バジリスク～甲賀忍法帖～絆』および『アナザーゴッドハーデス・奪われたZEUSver.』の撤去時は、『パチスロ交響詩篇エウレカセブン3 HI-EVOLUTION ZERO』の導入が最も多く、以下は『押忍！番長3』、『ミリオンゴッド・神々の凱旋』、『SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ』の順で多く導入されました。6号機では、『HEY！鏡』の再設置や『パチスロサラリーマン金太郎～MAX～』の増設も行われています。2月には『バジリスク～甲賀忍法帖～絆2』が導入されますので、集客結果がどうなるかは別にして、『バジリスク～甲賀忍法帖～絆』の6号機への移行は完了することになります。

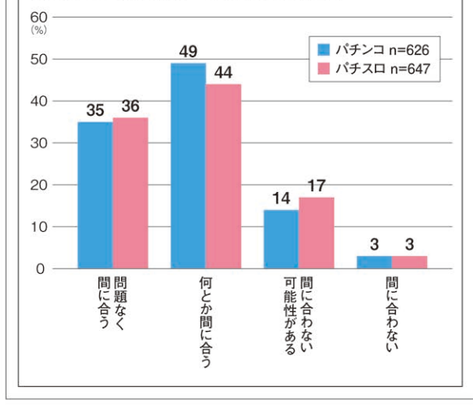
さらに進行する少台数多機種構成

このように、2019年10月から12月の第1フェーズでの主要機種の6号機への移行は、直系の後継機の発売が撤去のタイミングとズレたことで、撤去時の穴埋めのための機種導入と、後継機導入の2回に分けて移行が行われました。そのため、主要機種の設置台数を大きく上回る台数の遊技機が必要になったわけです。今後も主要機種の撤去タイミングに合わせて後継機がリリースされるとは限らず、当初の想定上の遊技機導入が必要になることを想定しておくべきです。

また、撤去タイミングに合わせて後継機がリリースされたとしても、現在の6号機の状況やメーカーの供給体制を鑑みると、現在設置している台数を全て後継機に置き換えることは難しいでしょう。必然的に複数の6号機で代替することになり、少台数多品種構成がさらに進行すると考えられます。そのため、効率的に6号機移行を進めるには、瞬間的に営業に影響が出たとしても、主要機種の撤去期限前から段階的に6号機に入れ替えていく判断も必要です。

いずれにせよ、2020年はパチスロの新機種導入が大幅に増加することは間違いなく、これに合わせてファンも動きます。主要5号機の設置が少ないために集客に苦戦している店舗にとっては、前述の各フェーズでの6号機への移行は現在の市場での序列を覆す契機にもなり得ます。単年の収支では見合わない規模の遊技機購入費の投下が必要となる可能性もありますが、積極的な6号機移行で各フェーズでの市場シェアの確保を重点目標に置き、残存者利益を享受できるポジションを得たいところです。

期限までの新規則機への移行完了見込み



newgin
あそびにマジメ

ECO

ニューギン ECOパチ10周年記念

CYBORG 009 CALL OF JUSTICE 限定の特別キャンペーン

通常価格より ¥50,000 プライスダウン！

キャンペーン価格 ¥149,000※

※ECOパチの価格となります。
その他のECOプランは弊社支店・営業所にお問い合わせください。

newgin group